

よびごえ



浄土真宗

仏光寺派
光明山
光善寺

〒 915-0802
越前市北府 2 丁目 2-18
Tel. 0778-22-1222

聞く身

浅田正作

願いを聞こう
願われて 願われて
願われて生まれてきた
願われて育てられてきた
その願いを
聞く身になろう

…真宗門徒の歩んできた道は、お念仏を称えてそのいわれを聞いてゆくということで救われる道でありました。決して何かにお祈りをしたり、願いをかけたたりそういうことはいいたしません。なぜなれば、人間の願いは欲望というワクを出られません。どんな願いでも非常に個人的なもの。

の。突き詰めれば自己中心のワクを出られません。恥ずかしいんですけども、それが我々の偽らざる姿です。私もそうです。ところが人間にはそういう欲望という心の奥には、欲望とは異質な、質のちがう願いが埋もれておるんでしょう。そういうものを呼び起こされて、初めて、動物とはちがう、人間としての歩みが始まるわけです。

現代社会を見れば、「自分ファースト」という言葉が大手を振って、まかり通っておりますな。放っておけば、人間はある意味で言う動物より以下になることがあります。知能や力がありますけれど、心が非常に恥ずかしいものがいっぱいあります。

す。こんなに暮らしに恵まれても、ここ数年起こってくる世間の出来事を見ますと、とても悲しく、残念なことが多いですね。

知性が発達すればするほど、そういう傾向があるんですね。ですから自分の考えとか行動を批判するものを失うと、人間は人間としてのいのちを失うんだということを思いま

す。ですから浄土真宗の教えは、仏さまの言葉を聞いていく。こちらの願いを叶えるんじゃないくて、仏さまの願い（本願）を聞くということ。実はこれは、私たちの日常の願いの奥にある、深い願いなんです。ですから仏さまの教えに遇って、自分自身が気づかずに深いところで持っていた願いに出遇っていく。そこで初めて人間が人間として成り立つていくということが言えるんだと思います。

伊藤元師法話より（聞き書き）